

平成20年3月27日

沖縄電力株式会社

沖縄県へのファミリーハウス「がじゅまるの家」の寄贈について

沖縄電力グループ「百添会」は、設立10周年の記念事業として、入院患者の付き添い家族用滞在施設ファミリーハウス「がじゅまるの家」を建設し、本日、沖縄県へ下記のとおり寄贈いたしました。

島嶼県である沖縄県においては、離島や遠隔地に住む子ども達が高度な医療技術を有する沖縄県立南部医療センター・こども医療センターで治療を受ける場合、付き添いのご家族が経済的・精神的負担を強いられる状況にあります。今回、これらご家族の方々が低料金で快適にご利用していただける滞在施設を設置するものです。

当グループといたしましては、当滞在施設が、付き添いご家族の皆さまの経済的な負担を軽減することはもとより、ご家族同士が助け合い、励ましあえる場となることで、沖縄県における難病支援活動の一助に繋がるものと期待しております。

記

1. 事業概要

- (1)施設名称 ファミリーハウス「がじゅまる*の家」
- (2)建設場所 沖縄県南部医療センター・こども医療センター隣接地(沖縄県用地)
- (3)施設概要 延床面積約552㎡(共用部分含む)全10室(和室6 洋室4)
21㎡程度/1室(大人1~4名程度が滞在可能)
IH調理器・電気温水器を設置するオール電化施設
付属備品としてベッド、空調設備、テレビ、冷蔵庫等を設置
共用部分はボランティア室、イベントルーム、キッチンコーナー、洗濯・衣類乾燥室、屋外イベント広場等
- (4)建設費用 約1億5千万円(付属備品も含む)
※「がじゅまる」とは南西諸島に自生する樹木の名称で、沖縄県では神木・霊木、多幸の木として親しまれています。

2. 施設の運営

本施設は、沖縄県南部医療センター・こども医療センターで治療を受ける子ども達の付き添いのご家族が低料金で利用できる滞在施設となっており、寄贈後は、沖縄県の管理施設として管理運営を行っていただきます。

以上